

なぜ横浜市は遅い？物価高対策が「決まらない」理由

【現状の圧力と交付金】



【構造的な制約(ボトルネック)】



【現在の状況とアクション】



※その他3つのイメージ図はGoogleの生成AI「Gemini」にて作成しています

横浜市の物価高騰対策は何？

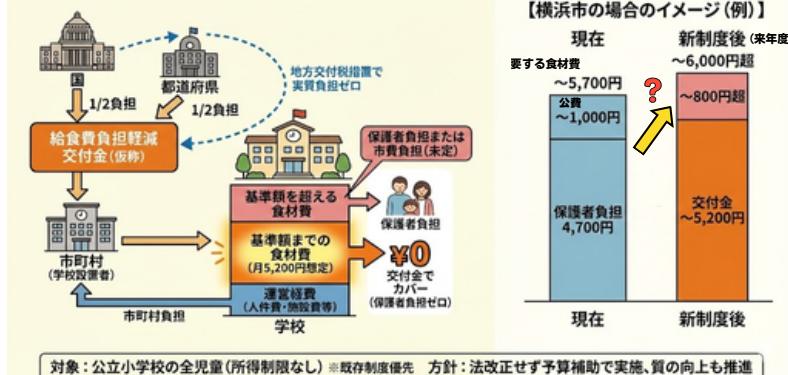
本年もどうぞよろしくお願いいたします。出費のかさむ年末年始を控え、子育て世帯への2万円給付以外に横浜市の対策が決まっていないため、12月24日に横浜市長あてに「市民へ直接還元する物価高対策の早期実施」を求める要望書を提出しました。国の重点支援地方交付金は横浜市分で約218億円ですが、一人あたり約5,000円程度に留まります。私たちは、市としての考え方や方向性、スケジュールを早く示すことを要望しました。年明け以降、可能な限り早期に補正予算を成立させ、市民が実感できる支援を速やかに実行する方針は確認できました。詳しい要望内容と対談の詳細はQRコードからご覧いただけます。※レポート発行後に横浜市が発表する方針等は柏原すぐるHPにも情報を掲載します。



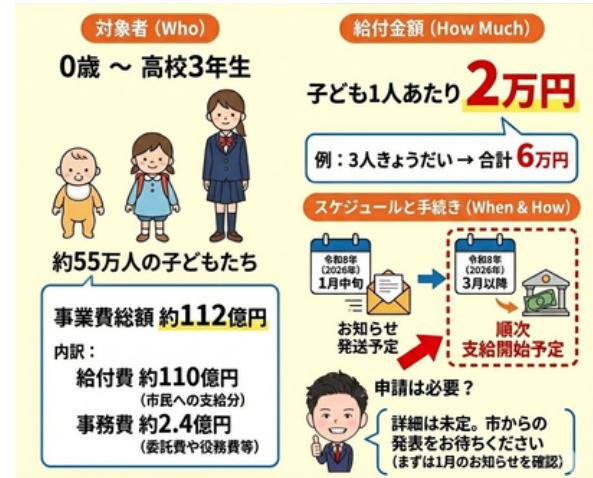
詳細はこちら

小学校給食は今後どう変わるの？

令和8年4月開始 学校給食費の抜本的負担軽減（いわゆる給食無償化）の仕組み



横浜市では現在、保護者負担が月額約4,700円で、公費が約1,000円上乗せされ、給食の質が保たれています。一方、国が示した給食費負担軽減の補助基準は月5,200円です。来年度は物価高騰の影響もあり、実際に必要となる給食の食材費は月6,000円程度が見込まれています。そのため、国の補助基準と横浜市での実勢価格との間に生じる差額を保護者負担とするのか、公費で補うのかが今後の重要な論点となります。子育て支援と給食の質を両立させる丁寧な議論が求められます。

子育て世帯への緊急支援
給付金は3月から支給へ

12月18日に補正予算が可決。2万円の給付開始は3月上旬予定で、対象は平成19年4月2日から令和8年3月31日までに生まれます。事業費は約112億円（全額国費）、うち約2.4億円を事務費が占めます。配る手間を考えれば、税金を集めることを減らすべきと私は考えます。

議会質問や市政報告会の動画配信

Youtubeチャンネルでは、市政報告会や議会質問、最新情報を公開中！QRコードからご覧ください



12/14一般質問 11/29市政報告会



PROFILE

柏原傑（かしわばらすぐる）

1985年広島生まれ/鶴見区寺谷在住/妻と小学生3人の5人家族/公立小中高を経て、千葉大学工学部卒/民間企業を経て、2023年より横浜市会議員/会派及び県連政調会副会長/こども青少年・教育委員会及び市民活躍・地域コミュニティ活性化特別委員会 委員

鶴見はもっと良くなる？予算要望の内容を紹介します



要望書の
全容はこちラ

前号でお伝えした通り10月21日に令和8年度予算要望書を提出しました。今号では、鶴見区に関する要望事項を紹介します。皆さんのがんばりが後押しです。いただいたご意見やアイデアを生かし、根拠や効果も確認しながら政策提言を行って参ります。

① JR鶴見駅への中距離直通電車停車



JR鶴見駅への中距離直通電車停車（相模鉄道・JR直通電車停車等）の実現に向けた積極的な取組を行うこと。

② 京急鶴見駅の急行停車の実現

京急鶴見駅の急行停車の実現に向けた積極的な取組を図ること。



③ 区内観光資源で国内外観光客誘致

国道駅高架下、鶴見川流域など区内観光資源を活用した国内外観光客誘致を一層推進すること

④ 鶴見区内京急各駅のホームドア整備

安全対策強化に向けて鶴見区内京急各駅（花月園前駅・鶴見市場駅）のホームドア早期整備を図ること。

⑤ 「みんなのお出かけ事業」



みんなのお出かけ事業において上の宮・馬場・獅子ヶ谷エリアで運行中ののるーとTSURUMIの継続支援、岸谷エリアへの地域交通導入を着実に実施すること。



⑥ JRガード下の安全性確保



県道鶴見溝ノ口線のJRガード下で歩行者の通行を最優先とし、自転車利用者・車両との分離を図るなど、安全性・快適性の向上を推進すること。

⑦ 鶴見駅西口の再々開発

鶴見駅西口における再々開発を促進すると共に、公共空間の改善・リノベーションを進めること。



今後の議会の予定

12月18日に第四回定例会が閉会。次回の第1回定例会は1月下旬から。補正予算/新年度予算など審議します。閉会中は調査や政策立案等を行うと共に、地域の声を伺います。



お問合せ

ご意見やご質問は随时受け付け中！
公式LINE登録後、「問い合わせ」
よりお気軽にご連絡ください。

